

マンガの聖地と目白界隈ウォーキングに参加して…

寺西 幸雄

今回は西武池袋線椎名町駅から JR 山手線目白駅まで、紅葉の始まった邸宅の街を歩く 5 km 約 3 時間半のコースでした。午前 10 時に集合、新メンバーが 3 人加わりましたので、それぞれ自己紹介をして、その後スタートしました。

最初にマンガの聖地として有名な「トキワ荘マンガミュージアム」を訪れ、施設内を見学しました。豊島区南長崎にあるトキワ荘は、手塚治虫、藤子不二雄（A・F）、赤塚不二夫をはじめとするマンガの巨匠たちが住み集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパートです。

展示されていたのはマンガ関係の資料に加え、昭和 30 年代の生活、社会などを彷彿させる展示もあり、懐かしく観覧することができました。

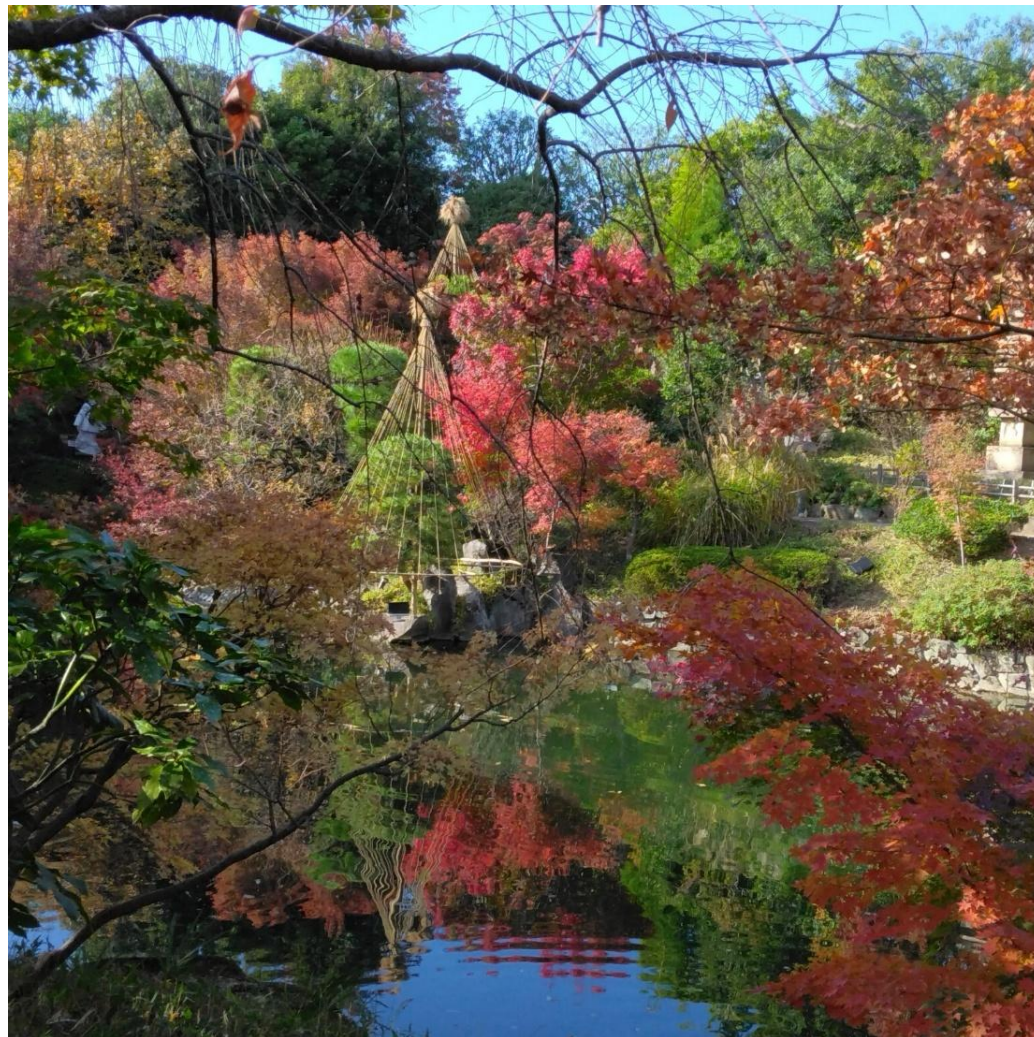


「トキワ荘マンガミュージアム」にて

続いて、新宿区中落合にある「佐伯祐三アトリエ記念館」を訪れました。佐伯祐三は、パリの街角などを独特のモダンなタッチで描いた大正時代の洋画家です。記念館は大正 10 年にアトリエ付き住宅として新築したものです。洒落た建物と庭園の緑が、いかにも画家が生活し、創作活動をする場にふさわしい環境だと感じました。

次に、新宿区下落合にある「おとめ山公園」を訪れここで昼食休憩となりました。この公園は、江戸時代將軍家の鷹狩などの狩猟場だったそうで、都内では希少な緑や湧水が保全された斜面緑地です。

最後に、「目白庭園」に立ち寄りました。この庭園は、庭の中心に大きな池を配し、周囲に園路を巡らせた伝統的な池泉回遊式の日本庭園として、1990 年に豊島区が開園したそうです。池に映る紅葉を見ながら、池の周りを散策して、心安らぐ時を過ごせたと思います。



紅葉の「目白庭園」

午後2時前に、JR 山手線目白駅前で解散となりました。「日頃訪れることのない、この界隈を散策できよかった」、「運動不足だったがみんなと歩いて良かった」などの声もありました。

参加した皆さんそれぞれが、家庭のこと健康のことなどを情報交換し、旧交を温めながら、ウォーキングを楽しんでいただけたと思います。

【第223回】

実施日時：令和7年11月19日(水)

実施場所：椎名町駅～目白駅

参加者：27人

天 候：晴れ・曇り

佐伯祐三アトリエ記念館



おどめ山公園の生き物

川や森の生き物

湧水からのきれいな水が豊富なことから、サワガニなど部心ではなかなか見ることが出来ない生き物が生息しています。また、樹林地では、カブトムシやカナヘビなどの生き物を見ることが出来ます。



鳥類

豊かな森にはウグイス、シジュウカラ、メジロなどの野鳥が集まっています。池には、アオサギや、春には弁天池でカルガモの子育てをみる事ができます。



植生

おどめ山の森は、コナラやイヌシデなどの落葉樹のほか、シラカシ、スダジイなどの常緑樹で構成されています。光の入りづらい地表には、キチジョウソウ、エビネのほか、水辺ではミソハギなどがあります。



おどめ山公園 園内図

